

第3回三重県誕生 150 周年記念事業推進会議 概要

1. 開催日時:令和7年2月26日(水)16時25分~16時40分
2. 議事概要:以下のとおり

(小見山政策企画部長)

第3回三重県誕生 150 周年記念事業推進会議を開催する。本日の会議は、令和8年の三重県誕生 150 周年に向けた、令和7年度の主な取組や市町・企業と連携した取組の方向について、情報共有を図るために開催する。

それでは、事務局から説明をお願いする。

●資料1について世古次長より説明。

(福永教育長)

主役は子どもたちとあるように、子供たちに焦点を当てた取り組みが重要となる。教育委員会もしっかりと役割を自覚しおり、子供たちが三重の歴史や文化をしっかりと見て、再発見して、将来につなげていけるような企画を立案していく。

(後田総務部長)

令和7年4月26日の県民の日のイベントが150周年PRのキックオフになる。総務部が担当しており、コンセプト、キーワードに沿った形で仕組んでいきたと考えているので、協力をお願いしたい。

(一見知事)

前回(第2回)の会議で三重県誕生150周年記念事業のコンセプト、キーワードを皆さんと話し合ったが、資料にある具体的な事業になってくると、コンセプトの関係で、なぜこれをやるのか、150周年が県民の皆さんにとって何なのかを考える必要がある。県(県庁)ができて150年経つが、それが今生きておられる皆さんに、どう関係があるのかをよく考え、県民の皆さんに伝えていく必要がある。三重県を若い人に知っていただいて、愛着を持ってもらい三重県に残ってもらう、或いは、帰ってきてもらうことは大事なことであるが、一定の年齢層の皆さんに、どうやって説明していくか考えないといけない。観光とか人材確保とかだけではなく、県レベルでも地域間競争になっている時代に、県民の皆さんに、一体感を持ってもらうことが大事。例えば、県民の皆さんに、「三重県ってこういうところですよ。みんなで一緒にやってきましょう」という、PRみたいな事業もあるかもしれないし、じっくりと腰を据えて、今までの歴史、或いは、将来出てくる課題、今の課題を乗り越えていくために、こういう事業やりますっていうのもあると思う。そういうのを考えてやっていかないと、県民の皆さんのご理解はいただけない。イベントをやればいって言うだけではない。政策企画部を中心に、議論しながら、皆さんのご意見もいただいて、考えていきたい。